

令和6年度 〔花卉の概況〕

本州産の切花は、夏場の高温 晩秋の台風の影響で生育がやや遅れ気味。品質が低下している品目が多く見られます。
また、高齢化、人手不足から需要期に大量に集中出荷することが難しくなって来ています。

花卉概況担当 丸果旭川青果卸売市場 常務取締役 引地紀夫（花卉部直通48-3237）

主品目	主力産地	前年対比		市況予想（1本単価）	概 況
		入荷量	市況		
輪菊	愛知、静岡、鹿児島	減	高い	150～80	作付け減少に伴い需要期に品薄が見込まれ、市況も上昇予想です。
小菊	沖縄	並	高い	70～40	予約相対品中心の入荷見込み。品質低下が心配されます。
カーネーション	愛知、コロンビア	並	高い	100～70	国内産は天候の影響で減少傾向。輸入品は前年並みで推移します。
バラ	愛知、エクアドル	並	高い	250～150	人気の赤系を中心に需要高まる。月末に向けて単価上昇。
百合類	宮崎、韓国	並	高い	400～200	入荷量は前年並み。市況も前年並みで推移します。
トルコ桔梗	静岡、福岡、台湾	並	高い	400～200	国内産は天候不順から品質低下。台湾産が安定入荷の予想です。
若松	茨城	減	高い	170～60	入荷量は減少傾向です。
千両	茨城	減	高い	700～200	生産量は減少しており品薄感強い。市況1割高を予想です。
シクラメン	旭川、伊達、札幌	減	並	1500～700	前年に引き続き生産量減少。消費低迷から弱含みです。
ポインセチア	帯広、札幌	減	並	1000～600	道内産地注文対応中心。入荷減少傾向も市況は昨年並みです。
シンビジューム	静岡、秋田	減	並	3500～1500	志向の変化から引き合い弱い。市況前年並み。